

静岡県漁業協同組合連合会

1101 静岡市追手町 9-18
16.7.16 054-254-6011
編集・発行 = 指導部漁政課

1. 県信漁連会長に星川壽美雄氏就任

県信漁連では、理事 1 名欠員に伴う再選挙により鈴木明夫氏(沼津我入道漁協長)が選出されるとともに、去る7月9日理事会を開催し、会長及び副会長の互選を行った結果、会長には星川壽美雄氏(浜名漁協長)、副会長には伊藤 優氏(焼津漁協常務)が選任され同日就任しました。

2. 県漁業振興基金で種苗中間育成を開始

県漁業振興基金では栽培漁業を効率的に推進するため、県栽培漁業先センターで人工孵化させた約2㍏のマダイの稚魚を例年、田子、網代、戸田、内浦の4ヶ所で沖出して、約6㍏以上の大きさになるまで中間育成して海に放流しています。

同基金では、今回7月8日田子漁港の岸壁で海上いけす(4.5㍏四方、深さ4㍏)4基にマダイの稚魚20万匹を移し、約300㍏の沖合いに出す作業を行い、約1ヶ月半を目途に中間育成をして伊豆西岸に放流することにしています。

3. タイ・ヒラメの稚魚を各地で放流

資源増大と子供たちに自然保護の意識を高めてもらうことを目的として、大熱海漁協では去る7月6日、熱海市立第2小学校の5年生約70名に、同漁協青年部が操縦する漁船3隻に分乗し、「錦ヶ浦」前の浅瀬で、県栽培漁業センターで3ヶ月ほど前にふ化し約7㍏に成長したヒラメの稚魚6,000匹を元気に育てと願いをこめて放流してもらいました。

また、由比港漁協でも去る7月12日、県遊漁船業協会と協同で、由比、蒲原両町の町長も加わり小学生約70名が漁船7隻に分乗して、由比町沖にマダイの稚魚2万尾を放流しました。

4. サクラエビ飼育51日達成

県水産試験場は、駿河湾海洋深層水を使用して、サクラエビの長期飼育をしています。5月12日に漁獲したサクラエビが7月2日現在で51日間生存したことを発表しました。

同試験場では、昭和50年代に約30日間のサクラエビの飼育記録がありますが、通常では2週間ほどで死んでしまう場合がほとんどで、今年4月にオープンした県水産試験場深層水水産利用施設で、5月21日に漁獲した4匹のサクラエビ(体長約4㍏)を1匹ずつ飼育容器に入れ飼育を始めました。

飼育水は二種類の深層水のうち、水深687㍏からくみ上げた5~8 の水を15 程度に加熱して酸素を与えたほか、餌として動物プランクトンを与えました。飼育開始後、15、16日目に脱皮成長を確認したものの2匹が死んで、飼育開始27日目に再び残る2匹の脱皮を確認しました。2匹のうち、1匹は37日目に死んでしまいましたが、残る1匹は6月29日までに4回の脱皮を繰り返し、透き通った姿でピーカーの中で元気に泳いでいます。

深海に生息するサクラエビは生態になぞの部分が多く、深層水の持つ清浄性と水温安定性を利用して、長期飼育が可能になれば生態が解明できるといえます。

5. 県立漁業高等学園の生徒就職相談会開催

県立漁業高等学園では去る7月13日、同学園の生徒と後援会のメンバーである焼津、小川漁協、御前崎船主同盟会、県鯉鮪漁協、焼津船員労務協、県漁連、県との、就職相談会が開催されました。

今年同学園に在学する7名の高校卒業生を含む20名の生徒たちは、4月からの3ヶ月間、寄宿舎での共同生活と先生たちの厳しい指導を通じて、日焼けしたたくましい顔つきで、学園生活が楽しいとの感想を述べていました。

生徒たちは既に卒業後、サバ船や旋網、さらに遠洋鯉鮪漁船に乗船することを真剣に考えていますが、これは生徒たちを送り出した家族の期待と応援も大きな力となっていることが感じられました。

意欲的に学ぶ生徒たちに漁業と操業の実態を伝え、本県の漁船漁業を支える優秀な乗組員として、来春の卒業時には100%希望の漁船に乗船できることが期待されました。

6. 県TAC(漁獲可能量) 6月末漁獲実績を発表

県では、このほどTAC対象4魚種の5月末現在の漁獲実績を発表しました。

それによると、サバがTAC数量6,000㍏に対し3,398㍏で消化率56.6%となり、TAC数量が若干量の魚種では、マアジ2,083㍏、マイワシ1,884㍏、スルメイカ270㍏の漁獲量となりました。また、サンマは3.3㍏の漁獲量でした。

7. 「第4回魚ッとするコンテストin焼津」作品募集のお知らせ

焼津市では「第4回魚ッとするコンテストin焼津」の作品を8月27日まで「魚料理の楽しみ方の新基準と実感づくり」をテーマに焼津で水揚げされる代表的な魚(カツオ・マグロ・サバ・アジ・イワシ)から、1魚種を題材にアイデア溢れる作品を募集します。また、コンテストは「料理部門」と「デザイン部門」の2部門で、デザイン部門では一般の部と子供の部(中学生以下)の2部制です。

料理部門：5種類の魚の中から1つを選び、自由な発想でプロデュースして、魚の魅力を最大限に引き出しオリジナル健康料理で、家庭でも簡単に作れるもので主食、おかずなど一品料理(和・洋・中などジャンルは問わない)に限る。

デザイン部門：5種類の魚の中から1つを選び、モチーフとしたイメージカットで水彩画、油絵、版画、CGなどジャンルは問わない 募集制限：プロ、アマ、団体、個人を問わない。応募は何点でも可能であるが、未発表でオリジナル作品に限る 賞：料理部門・最優秀賞(賞金30万円)、優秀賞(賞金5万円) デザイン部門(一般の部)・最優秀賞(賞金5万円)、優秀賞(賞金1万円) (こどもの部)最優秀賞(図書券5万円)、優秀賞(図書券1万円)

問合せ・応募先：焼津市経済部水産課内「第4回魚ッとするコンテスト」
係 = 〒425-8502 焼津市本町2-16-32 TEL054-626-2152 FAX054-626-2188

8. 諸会議・日程(7月20日(火)~8月2日(月))

- 既存分省略 -

7月30日(金) 県漁連 = 県トラフグ資源管理型漁業実践協議会 (県水産会館)

〃 県ふぐ漁組合連合会 = 調整会議 (〃)

〃 県おさかな普及協議会 = 夏休み親子おさかな体験教室 (小川漁港)

8月 1日(日) 県遊漁船業協会 = 初心者向け船釣り教室 (由比漁港)